

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月24日

1 基本事項	
公の施設の名称	横山公園
指定管理者の名称	横山公園グループ運営共同企業体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として、スポーツの振興及び市民の健康増進を図る。
施設概要	横山公園(昭和45年供用開始、13.5ha) : 芝生広場、樹林広場、クラブハウス、駐車場、運動公園 スポーツ施設(陸上競技場、野球場、テニスコート)
施設所管課の名称	環境経済局 環境共生部 公園課

2 管理実績						
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計 【陸上競技場】(人)	14,395	2,537	陸上競技場は、H26.6.1で閉鎖し、当該区域は「人工芝グラウンド」として再整備し、H29.4.1から供用開始をした。			
利用者数合計 【人工芝グラウンド】(件)					1,322	
利用件数合計 【野球場】(件)	721	735	668	679	751	
利用件数合計 【テニスコート】(件)	12,355	11,097	12,185	11,653	10,522	
利用料金収入(円)	20,695,611	18,213,530	19,040,250	20,836,500	36,396,090	

3 成果指標の達成度

指標名(単位)	陸上競技場の年間利用者数(H26まで)、陸上競技場の年間専用利用件数(H26まで)、人工芝グラウンドの年間利用件数(H29から)、野球場の年間利用件数、テニスコートの年間利用件数
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績件数(又は人数) ÷ 目標件数(又は人数) × 100 実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 平成26年度の目標値は、東日本大震災等の影響に鑑み、平成24年度の利用件数(又は人数)をもとに設定した。なお、平成27年度以降の目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することが出来る。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
陸上競技場利用者数	目標値(人)	24,100	16,000	H26.6.1で閉鎖		
	実績値(人)	14,395	2,537			
	達成度(%)	59.7%	15.9%			
陸上競技場専用利用件数	目標値(件)	40	40	H26.6.1で閉鎖		
	実績値(件)	40	9			
	達成度(%)	100.0%	22.5%			
人工芝グラウンド利用件数	目標値(件)				880	
	実績値(件)				1,322	
	達成度(%)				150.2%	
野球場利用件数	目標値(件)		700	700	700	700
	実績値(件)	721	735	668	679	751
	達成度(%)		105.0%	95.4%	97.0%	107.3%
テニスコート利用件数	目標値(件)		12,000	12,000	12,000	12,000
	実績値(件)	12,827	11,097	12,185	11,653	10,522
	達成度(%)		92.5%	101.5%	97.1%	87.7%

4 評価

指標名	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	B	概ね良好に管理運営されている。特に人工芝グラウンドについては供用開始初年度であったが、想定を大きく上回る利用がある中、大きなトラブルもなく運営できたことは評価できる。一方、実施に至らなかった事業や平日の日中の利用率が低いことは課題である。また、テニス場については、利用者は減少し続けている。効果的な自主事業を展開する等、利用者の拡充に向けた取り組みに期待する。
事業・業務の履行状況	A	施設の管理運営については、大変良好に実施されている。提案事業については、人気の高い事業の実施回数の増加や新たに供用開始をした人工芝グラウンドを会場とした、新規事業を行い、施設の周知にも努めている。また、花のボランティアを立ち上げ、ボランティア育成に注力し始めたことも評価できる。更なるボランティアの拡充や自立化を促すことを期待する。
利用者満足度の向上度	A	高い満足度を維持していることは、評価できる。しかし、受付対応等で人によってのバラつきなどのご意見をいただいている。人工芝グラウンドの利用のために初めて来る方も増えると思われるので、公平でさらに親切な対応を心がけていただき、より高い満足度を得られるように努めていただきたい。
財務状況の適正性	B	予算の執行状況については、2年連続のマイナス決算となっており、問題がある。支出の削減努力は見られるが、指定管理事業、自主事業において収入が少なかったことが主な要因と考えられるため、収入をあげるよう努力していただきたい。 (グループ全体で評価)

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」もしくは「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」もしくは「」つき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算における翌年度への繰越金がプラスかつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
- D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

客観的評価として以上の基準によりS・A・B・Cを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>同じ敷地内にあるグリーンプールと密に情報交換を行い、大会等の実施の際にも駐車場を含めて大きな混乱を生じさせることなく運営できており、大いに評価ができる。</p> <p>また、利用者からの要望の多い、トイレの洋式化について指定管理者の余剰金で実施をしたり、その他の利用者や近隣住民からの要望についても可能なものについて迅速に対応しており、利用者サービス向上への取り組みについても大いに評価できる。人工芝グラウンドについては全体的に高い利用率となっており、適切な管理運営が行えていると評価できるが、平日の日中の利用率が低いことが課題となっている。利用者のニーズに沿った効果的な事業展開を期待したい。</p>
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年7月24日
コメント	<p>施設管理等については、非常に良くやっていたらいい。しかし、収支面から見るとグループ全体ではマイナス決算となってしまうので、新しい施設である人工芝グラウンドの平日の日中の利用率を上げる等、更なる利用の拡充を行い、収入を上げて、黒字に転換できるように努力していただきたい。</p>